

卒業生、企業アンケート実施と集計結果、分析

1. 目的

以下の事項をアンケートにて調査し、教育課程等の構築の参考材料とする。

- ①卒業生が就職している企業が社員に求めている知識・能力の度合い、そしてその知識・能力を勤務している本学卒業生がどの程度、持ち合わせているかを調査する。
- ②卒業生が、本学で身に付けた知識・能力が勤務会社において、必要とされている度合い、そして卒業生本人が十分に身に付けていたかを調査する。

2. アンケート実施概要

アンケート実施期間：2020年9月7日～29日

アンケート依頼対象：本学卒業生（2014、2015、2016年度生）500名

卒業生勤務企業 400社

回答数：本学卒業生 81名

卒業生勤務企業 229社

*回答はいずれも無記名にて行った。

3. アンケート結果（抜粋）と分析

A. 卒業生が主に従事している職種

企業回答	設計（生産技術など）	24.5%
	研究・開発	23.6%
	製造	14.4%
	販売	6.6%
	サービス	5.7%
卒業生回答	サービス	18.5%
	設計（生産技術など）	17.3%
	研究・開発	12.3%
	販売	9.9%
	製造	8.6%

その他の職種を除く上位5つの職種は、企業、卒業生回答とも同じであるが、サービスが逆転をしている。卒業生の回答数が少ないことによる偏ったものとなった可能性はあるが、L科の回答数が突出しているものの、他の学科の卒業生回答数はあまり変わらない。企業回答は、本学の工学系という先入観により、引きずられた結果とも考えられる。卒業生の回答の方が現実に近いとは思えるが、回答数の少なさにより、断定的なことは言えない。

B. 知識、基礎学力に関するアンケート結果

B-1

数学・物理・化学などの自然科学の知識は必要とされるか。

(大いに必要(満足)、ある程度必要(満足)、上位二つの回答の合計割合にて分析)

企業回答	企業として	62.9%必要
	本学卒業生に対して	65.4%満足
卒業生回答	勤務企業において	54.3%必要
	本人において	50.0%満足(十分)

B-2

専門分野の基礎学力は必要とされるか。

(大いに必要(満足)、ある程度必要(満足)、上位二つの回答の合計割合にて分析)

企業回答	企業として	74.5%必要
	本学卒業生に対して	69.3%満足
卒業生回答	勤務企業において	76.8%必要
	本人において	73.9%満足(十分)

自然科学の知識、専門分野の基礎学力ともに、企業回答、卒業生回答とも大きな乖離はない。多少、卒業生回答において、勤務企業での必要性和自分の基礎学力との差が少ないのは、回答の卒業生に質的な偏りがあったのかもしれない。

C. 能力と行動に関するアンケート結果

C-1

自己の考え方の発表・発言力、他人とのコミュニケーション能力は必要とされるか。

(大いに必要(満足)、ある程度必要(満足)、上位二つの回答の合計割合にて分析)

企業回答	企業として	98.1%必要
	本学卒業生に対して	19.7%満足
卒業生回答	勤務企業において	95.1%必要
	本人において	61.5%満足(十分)

C-2

チームワーク力と計画実行力は必要とされるか。

(大いに必要(満足)、ある程度必要(満足)、上位二つの回答の合計割合にて分析)

企業回答	企業として	98.2%必要
	本学卒業生に対して	72.8%満足
卒業生回答	勤務企業において	93.8%必要
	本人において	70.0%満足(十分)

企業、卒業生回答ともに、会社内で極めて必要であると認識している。特に、プレゼンテーション、コミュニケーション力において、企業の本学卒業生に対する満足度は

低く、会社の必要度合いと大きく乖離している。それに比べ、卒業生回答では、本人が十分であるとは感じていないが、企業回答ほどの差は生じていない。これも質の高い卒業生の回答であったか、あるいは、企業の期待するところと卒業生の自覚との違いによるものかは、このアンケートではわからない。

チームワーク力、計画実行力では、企業、卒業生ともに同様の傾向であるが、必要性よりも、本学学生の満足度、本人の評価が25%程度は低いものとなっている。

いずれにしても、能力と行動、いわゆるコンピテンシーにおいて、本学学生の力を養成することは必須であり、そのための教育課程、教育手法等の検討は必要である。

また、企業におけるプレゼンテーション、コミュニケーション力を有することの学生への期待は、本学卒業生のみならず、全般的なものと考えられる。

D. その他 企業アンケート結果

D-1

英語によるコミュニケーション能力は必要とされるか。

(大いに必要(満足)、ある程度必要(満足)、上位二つの回答の合計割合にて分析)

企業回答	企業として	17.0%必要
	本学卒業生に対して	15.3%満足

D-2

最新のコンピュータ利用のための基礎能力は必要とされるか。

(大いに必要(満足)、ある程度必要(満足)、上位二つの回答の合計割合にて分析)

企業回答	企業として	70.8%必要
	本学卒業生に対して	67.6%満足

上記の二つのアンケート結果は、会社の必要性と本学卒業生に対しての評価との差が少ないものであった。また、英語によるコミュニケーション能力の必要性の結果は、海外業務が多い企業、あるいは大企業に本学卒業生があまり勤務していないことによるのかも知れない。

E. その他 卒業生アンケート結果

E-1

卒業研究で身に付けた設計・計画力、推進力、気づく力、表現力など様々な力と言える総合力は、仕事の中で役立っていると感じるか。

大いに感じる	17.3%
ある程度感じる	51.9%
どちらとも言えない	18.5%
あまり感じない	8.6%
全く感じない	3.7%

E-2

今振り返れば、学生生活は楽しく、有意義なものであったか。

- 大いにそう思う 53.1%
- ある程度思う 34.6%
- どちらとも言えない 7.4%
- 少し思う 2.5%
- 全く思わない 2.5%

以上

企業対象 神奈川工科大学卒業者に関するアンケート 回収率263/400=65.8% (10月8日現在)

【企業基礎データに関する質問】

Q1 業種	社数	比率
1. 水産・食料品業	13	4.9
2. 建設・設備業	31	11.8
3. エンジニアリング業	6	2.3
4. パルプ・紙・繊維業	2	0.8
5. 出版・印刷業	2	0.8
6. 石油・ゴム・ガラス・土石業	5	1.9
7. 化学工業	4	1.5
9. 金属製品業	6	2.3
10. 非鉄金属業	5	1.9
11. 機械業	12	4.6
12. 電気機器業	24	9.1
13. 輸送用機器業	20	7.6
14. 精密用機器業	3	1.1
15. その他製造業	18	6.8
16. 卸売業	10	3.8
17. 小売業	5	1.9
20. 運輸・倉庫業	4	1.5
21. 電力・ガス業	1	0.4
22. 通信業	5	1.9
23. 一般サービス業	5	1.9
24. 情報サービス業	68	25.9
25. 技術サービス業	7	2.7
プラスチック製造業	1	0.4
医療機関	1	0.4
給食受託業	1	0.4
協同組合	1	0.4
建物サービス業	1	0.4
食料品製造業	1	0.4
警備業	1	0.4

Q2 資本金	社数	比率
1. 0.5億円未満	52	19.8
2. 0.5億円以上～1億円未満	61	23.2
3. 1億円以上～5億円未満	72	27.4
4. 5億円以上～10億円未満	15	5.7
5. 10億円以上	62	23.6
回答無	1	0.4

Q3 従業員数	社数	比率
1. 100名未満	35	13.3
2. 100名以上～500名未満	140	53.2
3. 500名以上～1000人未満	30	11.4
4. 1000名以上	55	20.9
回答無	3	1.1

Q4 本学卒業生が最も多く従事する職種	社数	比率
1. 研究・開発	64	24.3
2. 設計（生産技術など）	67	25.5
3. 製造	34	12.9
4. 分析	3	1.1
5. 販売	17	6.5
6. サービス	20	7.6
7. 事務	4	1.5
9. その他	54	20.5

【業務に必要な知識、大学で学んだ知識に関する質問】

Q5 「数学・物理・化学などの自然科学の知識」が必要とされているか	社数	比率
1. 大いに必要	26	9.9
2. ある程度必要	133	50.6
3. どちらともいえない	50	19.0
4. あまり必要ない	48	18.3
5. 全く不要	6	2.3
回答無		

Q6 Q5で1・2・3と回答された方 本学卒業生が身につけている「数学・物理・化学などの自然科学の知識」は業務を遂行する上で十分か	社数	比率
1. 大いに満足	23	11.0
2. ある程度満足	114	54.5
3. どちらともいえない	63	30.1
4. 少し不足	8	3.8
5. 全く不足	1	0.5

Q7 Q6で4・5と回答された方 「補うため、卒業生に対してどのような教育を実践しているか」複数回答	社数
1. 会社の社員教育研修	3
2. 社外での講習会等	7
3. 会社での実務体験	8
4. 自己学習を勧める	4
5. 何もしていない	

Q8 「自己の考え方の発表・発言力、他人とのコミュニケーション能力」が必要とされているか	社数	比率
1. 大いに必要	191	72.6
2. ある程度必要	68	25.9
3. どちらともいえない	3	1.1
4. あまり必要ない		
5. 全く不要		
回答無	1	0.4

Q9 Q8で1・2・3と回答された方 本学卒業生が身につけている「自己の考え方の発表・発言力、他人とのコミュニケーション能力」は業務を遂行する上で十分か	社数	比率
1. 大いに満足	48	18.3
2. ある程度満足	136	51.9
3. どちらともいえない	47	17.9
4. 少し不足	26	9.9
5. 全く不足	3	1.1
回答無	2	0.8

Q10 Q9で4・5と回答された方 「補うため、卒業生に対してどのような教育を実践しているか」複数回答	社数
1. 会社の社員教育研修	20
2. 社外での講習会等	10
3. 会社での実務体験	27
4. 自己学習を勧める	9
5. 何もしていない	

Q11 「英語によるコミュニケーション能力」が必要とされているか		
	社数	比率
1. 大いに必要	6	2.3
2. ある程度必要	42	16.0
3. どちらともいえない	67	25.5
4. あまり必要ない	123	46.8
5. 全く不要	25	9.5
回答無		

Q12 Q11で1・2・3と回答された方 本学卒業生が身につけている「英語によるコミュニケーション能力」は業務を遂行する上で十分か		
	社数	比率
1. 大いに満足	2	1.7
2. ある程度満足	19	16.5
3. どちらともいえない	70	60.9
4. 少し不足	16	13.9
5. 全く不足	8	7.0

Q13 Q12で4・5と回答された方 「補うため、卒業生に対してどのような教育を実践しているか」複数回答		社数
1. 会社の社員教育研修		9
2. 社外での講習会等		6
3. 会社での実務体験		9
4. 自己学習を勧める		18
5. 何もしていない		1

Q14 「チームワーク力と計画実行力」が必要とされているか		
	社数	比率
1. 大いに必要	201	76.4
2. ある程度必要	60	22.8
3. どちらともいえない	1	0.4
4. あまり必要ない		
5. 全く不要		
回答無	1	0.4

Q15 Q14で1・2・3と回答された方 本学卒業生が身につけている「チームワーク力と計画実行力」は業務を遂行する上で十分か		
	社数	比率
1. 大いに満足	52	19.8
2. ある程度満足	140	53.4
3. どちらともいえない	55	21.0
4. 少し不足	15	5.7
5. 全く不足		

Q16 Q15で4・5と回答された方 「補うため、卒業生に対してどのような教育を実践しているか」複数回答		社数
1. 会社の社員教育研修		8
2. 社外での講習会等		3
3. 会社での実務体験		15
4. 自己学習を勧める		4
5. 何もしていない		

Q17 「専門分野の基礎学力」が必要とされているか		
	社数	比率
1. 大いに必要	60	22.8
2. ある程度必要	140	53.2
3. どちらともいえない	43	16.3
4. あまり必要ない	15	5.7
5. 全く不要	4	1.5
回答無	1	0.4

Q18 Q17で1・2・3と回答された方 本学卒業生が身につけている「専門分野の基礎学力」は業務を遂行する上で十分か		
	社数	比率
1. 大いに満足	31	12.8
2. ある程度満足	139	57.2
3. どちらともいえない	57	23.5
4. 少し不足	12	4.9
5. 全く不足	1	0.4
回答無	3	1.2

Q19 Q18で4・5と回答された方 「補うため、卒業生に対してどのような教育を実践しているか」複数回答		社数
1. 会社の社員教育研修		4
2. 社外での講習会等		9
3. 会社での実務体験		12
4. 自己学習を勧める		7
5. 何もしていない		

Q20 「最新のコンピュータ利用のための基礎能力」が必要とされているか		
	社数	比率
1. 大いに必要	49	18.6
2. ある程度必要	139	52.9
3. どちらともいえない	45	17.1
4. あまり必要ない	27	10.3
5. 全く不要	2	0.8
回答無	1	0.4

Q21 Q20で1・2・3と回答された方 本学卒業生が身につけている「最新のコンピュータ利用のための基礎能力」は業務を遂行する上で十分か		
	社数	比率
1. 大いに満足	26	11.2
2. ある程度満足	135	57.9
3. どちらともいえない	66	28.3
4. 少し不足	5	2.1
5. 全く不足		
回答無	1	0.4

Q22 Q21で4・5と回答された方 「補うため、卒業生に対してどのような教育を実践しているか」複数回答		社数
1. 会社の社員教育研修		3
2. 社外での講習会等		4
3. 会社での実務体験		4
4. 自己学習を勧める		3
5. 何もしていない		

【個人データに関する質問】

Q1 学科	人数	比率
MM	7	7.7
MF	3	3.3
E	6	6.6
C	5	5.5
I	5	5.5
N	8	8.8
D	6	6.6
V	6	6.6
R	4	4.4
H	7	7.7
B	8	8.8
U	1	1.1
L	19	20.9
A	6	6.6

Q2 卒業年度	人数	比率
1. 2014年度	18	19.8
2. 2015年度	28	30.8
3. 2016年度	45	49.5

Q3 勤務先の業種	人数	比率
1. 水産・食料品業	8	8.8
2. 建設・設備業	2	2.2
3. エンジニアリング業	6	6.6
7. 化学工業	3	3.3
9. 金属製品業	1	1.1
11. 機械業	12	13.2
12. 電気機器業	1	1.1
13. 輸送用機器業	4	4.4
14. 精密用機器業	1	1.1
15. その他製造業	2	2.2
16. 卸売業	1	1.1
17. 小売業	6	6.6
20. 運輸・倉庫業	4	4.4
22. 通信業	1	1.1
23. 一般サービス業	4	4.4
24. 情報サービス業	17	18.7
25. 技術サービス業	3	3.3
28. 教育	1	1.1
29. 官公庁	1	1.1
給食委託会社	3	3.3
病院	4	4.4
医療	3	3.3
外食業	1	1.1
現場監督	1	1.1
通信建設業	1	1.1

Q4 従事した職種	人数	比率
1. 研究・開発	13	14.3
2. 設計(生産技術など)	15	16.5
3. 製造	9	9.9
4. 分析	2	2.2
5. 販売	9	9.9
6. サービス	15	16.5
7. 事務	2	2.2
8. 教育	1	1.1
9. その他	25	27.5

【業務に必要な知識、大学で学んだ知識に関する質問】

Q5 従事した職種では「数学・物理・化学などの自然科学の知識」が必要とされているか		
	人数	比率
1. 大いに必要	10	11.0
2. ある程度必要	42	46.2
3. どちらともいえない	14	15.4
4. あまり必要ない	19	20.9
5. 全く不要	5	5.5
回答無	1	1.1

Q6 Q5で1・2・3と回答された方 大学で学んだ「数学・物理・化学などの自然科学の知識」は仕事をする上で十分か		
	人数	比率
1. 大いに満足	5	7.6
2. ある程度満足	27	40.9
3. どちらともいえない	20	30.3
4. 少し不足	10	15.2
5. 全く不足	4	6.1

Q7 Q6で4・5と回答された方 「不足を補うための努力を何らかの方法で実践しているか」複数回答	
	人数
1. 会社の社員教育研修	5
2. 社外での講習会等	1
3. 会社での実務体験	4
4. 独学	6
5. 何もしていない	1

Q8 従事した職種では「自己の考え方の発表・発言力、他人とのコミュニケーション能力」が必要とされているか		
	人数	比率
1. 大いに必要	65	71.4
2. ある程度必要	21	23.1
3. どちらともいえない	2	2.2
4. あまり必要ない	2	2.2
5. 全く不要		0.0
回答無	1	1.1

Q9 Q8で1・2・3と回答された方 大学で学んだ「自己の考え方の発表・発言力、他人とのコミュニケーション能力」は仕事をするうえで十分か		
	人数	比率
1. 大いに満足	13	14.8
2. ある程度満足	42	47.7
3. どちらともいえない	19	21.6
4. 少し不足	10	11.4
5. 全く不足	4	4.5

Q10 Q9で4・5と回答された方 「不足を補うための努力を何らかの方法で実践しているか」複数回答	
	人数
1. 会社の社員教育研修	3
2. 社外での講習会等	1
3. 会社での実務体験	8
4. 独学	10
5. 何もしていない	1

Q11 従事した職種では「英語によるコミュニケーション能力」が必要とされているか		
	人数	比率
1. 大いに必要	5	5.5
2. ある程度必要	21	23.1
3. どちらともいえない	25	27.5
4. あまり必要ない	21	23.1
5. 全く不要	18	19.8
回答無	1	1.1

Q12 Q11で1・2・3と回答された方 大学で学んだ「英語によるコミュニケーション能力」は仕事をするうえで十分か		
	人数	比率
1. 大いに満足	1	2.0
2. ある程度満足	5	9.8
3. どちらともいえない	27	52.9
4. 少し不足	8	15.7
5. 全く不足	9	17.6
回答無	1	2.0

Q13 Q12で4・5と回答された方 「不足を補うための努力を何らかの方法で実践しているか」複数回答	
	人数
1. 会社の社員教育研修	3
2. 社外での講習会等	
3. 会社での実務体験	4
4. 独学	8
5. 何もしていない	4

Q14 従事した職種では「チームワーク力と計画実行力」が必要とされているか		
	人数	比率
1. 大いに必要	53	58.2
2. ある程度必要	34	37.4
3. どちらともいえない	3	3.3
4. あまり必要ない		0.0
5. 全く不要		0.0
回答無	1	1.1

Q15 Q14で1・2・3と回答された方 大学で学んだ「チームワーク力と計画実行力」は仕事をやるうえで十分か		
	人数	比率
1. 大いに満足	10	11.1
2. ある程度満足	54	60.0
3. どちらともいえない	15	16.7
4. 少し不足	6	6.7
5. 全く不足	5	5.6

Q16 Q15で4・5と回答された方 「不足を補うための努力を何らかの方法で実践しているか」複数回答	
	人数
1. 会社の社員教育研修	2
2. 社外での講習会等	
3. 会社での実務体験	9
4. 独学	3
5. 何もしていない	

Q17 従事した職種では「専門分野の基礎学力」が必要とされているか		
	人数	比率
1. 大いに必要	34	37.4
2. ある程度必要	35	38.5
3. どちらともいえない	8	8.8
4. あまり必要ない	8	8.8
5. 全く不要	4	4.4
回答無	2	2.2

Q18 Q17で1・2・3と回答された方 大学で学んだ「専門分野の基礎学力」は仕事をやるうえで十分か		
	人数	比率
1. 大いに満足	13	16.9
2. ある程度満足	43	55.8
3. どちらともいえない	13	16.9
4. 少し不足	6	7.8
5. 全く不足	2	2.6

Q19 Q18で4・5と回答された方 「不足を補うための努力を何らかの方法で実践しているか」複数回答	
	人数
1. 会社の社員教育研修	3
2. 社外での講習会等	
3. 会社での実務体験	7
4. 独学	2
5. 何もしていない	

Q20 従事した職種では「最新のコンピュータ利用のための基礎能力」が必要とされているか		
	人数	比率
1. 大いに必要	27	29.7
2. ある程度必要	37	40.7
3. どちらともいえない	14	15.4
4. あまり必要ない	8	8.8
5. 全く不要	4	4.4
回答無	1	1.1

Q21 Q20で1・2・3と回答された方 大学で学んだ「最新のコンピュータ利用のための基礎能力」は仕事をやるうえで十分か		
	人数	比率
1. 大いに満足	6	7.7
2. ある程度満足	35	44.9
3. どちらともいえない	23	29.5
4. 少し不足	8	10.3
5. 全く不足	6	7.7

Q22 Q21で4・5と回答された方 「不足を補うための努力を何らかの方法で実践しているか」複数回答	
	人数
1. 会社の社員教育研修	5
2. 社外での講習会等	
3. 会社での実務体験	8
4. 独学	6
5. 何もしていない	2

Q23 1年次から3年次までに得た知識・能力を統合して、新たな課題・テーマに取り組む卒業研究は、本学の教育の特長。そこで経験し身につけた、設計・計画力、推進力、持続力、気づき力、推察力、表現力、コミュニケーション力などの総合力が現在の仕事の中で、役に立っていると感じるか。		
	人数	比率
1. 大いに感じる	17	18.7
2. ある程度感じる	45	49.5
3. どちらともいえない	17	18.7
4. あまり感じない	8	8.8
5. 全く感じない	4	4.4
回答無		

【学生支援について】

Q24 勉学について、教員からの支援は十分だったか		
	人数	比率
1. 大いに満足	16	17.6
2. ある程度満足	52	57.1
3. どちらともいえない	14	15.4
4. 少し不足	5	5.5
5. 全く不足	2	2.2
回答無	2	2.2

Q25 就職・進学活動への支援は十分だったか		
	人数	比率
1. 大いに満足	38	41.8
2. ある程度満足	36	39.6
3. どちらともいえない	7	7.7
4. 少し不足	6	6.6
5. 全く不足	2	2.2
回答無	2	2.2

Q26 スカラシップなどの経済的支援は十分だったか		
	人数	比率
1. 大いに満足	5	5.5
2. ある程度満足	24	26.4
3. どちらともいえない	46	50.5
4. 少し不足	10	11.0
5. 全く不足	3	3.3
回答無	3	3.3

Q27 学生生活で、困ったとき、誰かに相談したいときの支援は十分だったか		
	人数	比率
1. 大いに満足	17	18.7
2. ある程度満足	38	41.8
3. どちらともいえない	26	28.6
4. 少し不足	7	7.7
5. 全く不足	1	1.1
回答無	2	2.2

Q28 取得できる資格(受験資格)に対する指導が十分だったか		
	人数	比率
1. 大いに満足	17	18.7
2. ある程度満足	31	34.1
3. どちらともいえない	30	33.0
4. 少し不足	7	7.7
5. 全く不足	4	4.4
回答無	2	2.2

Q29 学習や研究に関わる施設、設備、備品は十分だったか		
	人数	比率
1. 大いに満足	23	25.3
2. ある程度満足	47	51.6
3. どちらともいえない	10	11.0
4. 少し不足	7	7.7
5. 全く不足	2	2.2
回答無	2	2.2

【全般的に】

Q30 今振り返れば、学生生活は楽しく、有意義なものだったと思うか

	人数	比率
1. 大いに思う	47	51.6
2. ある程度思う	32	35.2
3. どちらともいえない	7	7.7
4. 少し思う	3	3.3
5. 全く思わない	2	2.2
回答無		

- ・キャリア就職課私に関わった人の対応がひどすぎる。大学職員は高い給料をもらってるから学生など相手にしないのですね
- ・やりたいことがあって大学に入学したはずなのに、授業についていけなくなったり、将来の姿を見出せず不安に駆られるような事があった時に頼れるサービスを用意して欲しいです。または、既にあるサービスをもっと盛り上げて欲しいです。
- ・会社での専門知識などは会社に入ってからで大丈夫と言われました。コミュニケーション能力や積極的に物事に取り組む力が大切だと思います。また、時間の学生だからこそできる経験やサークル・部活動などを全力でやることをおすすめします！！
- ・外国人の方とのコミュニケーションは英語で伝わる場合が多いため、英語の筆記よりも英会話を多く学べるといいと思います。
- ・学生にとって遊びながら勉強もできる工夫というのが必要。身近な機械や道具を使ってすぐにも活かせる知識も教えることで、学生は役に立つこと、必要なことと捉えることができ、やる気につながる
- ・学生課の中で学生への対応が高圧的な人がいる。制度が突然変わるのをなんとかしてほしい。学生はその制度に頼ったのに急に制度が変わったせいで不利益を被るのはやめてほしい。
- ・学費高すぎ。学食不味い。
- ・学部学科に囚われず自身の興味がある分野に取り組んでみて欲しい。今、名前の知れている企業でも経営難に陥る時代です。就活生には会社を選ぶ際にネームバリューではなく自身がその仕事に興味を持てるか将来性があるかどうかを見極めて欲しいです。
- ・機械工学科では、CADによる製図の科目が最も不足していると思う。必修科目の中で2Dと3Dを触る時間が少しあるが、教える側の教員がそもそもCADを修得していない。(昔の人が多すぎて手書き製図にしか慣れていない)就職してから一番困りました(今もですが)。最近ではインターンシップで単位を与える大学も多く、やる気のない学生やコミュニケーションが苦手な学生がインターンに参加して、企業側へマイナスイメージを与えがちなため、就職意欲を高めたり、集団活動(サークルとか)に慣れるような促しが効果的だと思います。
- ・興味のある分野の開拓
- ・群れを作らず、常に自分が何をすべきか、何をしたいか考えて、とにかく行動することを推奨する。
- ・購買の製品充実化、カイトアリーナ貸し出し・物品貸し出し等の勉学外のサポートの周知があると良い。事務局の職員の電話等態度が悪く、学生を見下した様な話し方や対応が多々あった(その手の話を何件も聞いた事があるし、実際にされた事もある)為、その改善。守衛室での鍵貸し出しのシステムの統一化(貸し出し開始時間や貸し出し可能日が、担当した守衛や相手の学生によって異なるのは不公平と感じた事が多々あった)。
- ・私が就職して言われたことは「神奈川工科はどうして上の先生がコロコロ変わるの？」でした。入学してから教授や准教授の先生が何度も変わり、困ったことや大変だったこともありましたが、しかし、まさか自分の就職先でもそれを言われるとは思いませんでした。病院実習は大学の先生と指導者が協力して行われるものだと私自身就職して実習生を受け入れるようになって感じています。先生方の希望等もあるかと思いますが上の先生が変わりすぎるのは受け入れる側としても印象はよくないので改善されればいいなと思っています。
- ・資格はとりあえずなんでも挑戦したほうがよい
- ・自他への影響等、少しでも自分の行動に責任を持てるようにすること。小さなことでも良いので、何事も挑戦すること。
- ・自分は普段のコミュニケーションが余りできない人だったので他の学科の方との交流などあればそのようなコミュ障に近い人や交流の輪を広げるいい機会になると思います。サークル等などでは結局仲間内だけで終わってしまうことが多い。
- ・実験で学ぶこともあったけど、資格からかけ離れてる実験があったから、もう少し実験内容を資格に見合ったものがほしいです。
- ・社会に出ている人(大学職員も含むが、企業の方が良い)とのコミュニケーションなど関わりを多く持つことが良い。例えば、企業訪問インタビューや面接宿舎といったことは会社という組織を知る上で良い経験であった。今年の感染症によってマナー講習など、社会人になる上での基本講習がなくなり、名刺交換などを独学で学んで不安を感じながら行っている状態である。必ず必要となる社会人としてのマナーや基本の動き(名刺交換)などを動画、あるいは実践的に学ぶ機会があっても良いと感じた。社会人としての心構えの講座はあったが、前述のような内容もあると意識しやすいのではないと思う。
- ・授業内容と時間を書く。新しい事を覚える際に仕事が終わった後にノートにまとめる癖が無いと仕事を覚えられないです。その日、何の授業したか、どうゆう話の流れや話してた内容は何時頃に話してたかをメモする。メモする時間がない現場では、写真や動画を撮る場合もあるが、後ほどノートにまとめて見返すことが出来るようにする。次、自分が説明する時や仕事をする時にノートを見れば一人で出来るようになると思います。
- ・就職活動に対しての支援は厚いものを感じる一方で、大学生生活に関する相談所の知名度が無く、利用出来なかった点が残念だと思いました。

<ul style="list-style-type: none">・少しずつの努力が、将来大きな力になると思います。更に良い大学にして欲しいです
<ul style="list-style-type: none">・色々なことに挑戦し、様々な人とのコミュニケーションを図れると良いと思います
<ul style="list-style-type: none">・卒業研究や国試の勉強、就活で忙しくなってきた、精神的にきつくなって来た時期に研究室で仲間や研究室の教授と話したり、励ましたり、なんでもない話を出来たことは今振り返ってもとても有意義で、このおかげで乗り切れたと言っても過言ではありません。なので、研究室では勉強も大事かもしれませんが気軽に話せる環境であるといいと思います。
<ul style="list-style-type: none">・卒業研究をより良いものにするため、3年のうちに研究室の雰囲気や勝手を理解しておく
<ul style="list-style-type: none">・当たり前のことですが職場に遅刻しないこと、挨拶を忘れないことを求めます。去年、(神奈工とは別の)実習生が平気で遅刻してきて態度もよろしくなくて…。自分の大学の子じゃなくてほんと良かったと思いました。
<ul style="list-style-type: none">・勉学に勤しむ時間が多かったため、息抜きしやすいように、部活やサークルをより盛んにし、誰もが入りやすい、参加しやすい環境作りがあると良かったと思う。
<ul style="list-style-type: none">・専門科目を深めることも大切だが周辺領域の知識も必要です。自分には関係ないからと切り離さないで下さい。